

Aさん（新規就労：事務職）

Q. 就労支援課では、どんな訓練をしていましたか？

A. 腰痛があって出来ないものもあったけど、やれる訓練はやれるだけやってきました。どんなものであれ、自分にムダなものはないというのがセオリーなので、その点はいろいろやれたと思っています。

Q. 就職活動をどのように進めていきましたか？

A. とにかく自分を求めてくれる相手ならどこでも良いという考え方ではなく、自分が納得できる会社に行けたらと思い、面接会に行っては自分を見てもらうことを第一にして、沢山の会社を廻ってみました。しかし思った以上に厳しく容易ではない状況が続きましたが、最初の頃にアタックした会社が最後まで面接を続けてくださり、その会社に最終的に入ることになりました。ある意味で門戸が狭いであろうと思っていた会社だったので意外でしたが、決まって良かったです。

Q. 就職活動をする上で、大変だったことはありますか？

A. なかなか決まらない時は多少不安もありました。自分の障害のレベルを最初は小さく見ていたため、途中から「これは思っていたよりも容易じゃないのかな？」と思うこともありましたが、やはり自分を信じるのが大事だと思います。

Q. 問題が起きた時、ストレスや不安を感じた時の対処法があれば教えてください。

A. 次があると思うこと。闇雲にあきらめてはダメだけど、次があると思える余裕が運を呼ぶ。

Q. 就労支援課の皆さんにメッセージをどうぞ。

A. とにかく自分にとっての最良の結果を出来るだけつかんでみてください。このくらいでいいかは後悔の始まりです。

Bさん（新規就労：製造）

Q. 就労支援課ではどのようなプログラムに参加していましたか？

A. 主に軽作業・園芸・体育・清掃プログラム・自主製品・ビジネスマナートレーニングに参加していました。

Q. 就職活動をどのように進めていきましたか？

A. まず、障害者手帳を取るところから始めました。その後ハローワークに登録し、就労支援センターからの紹介で、2つの企業で実習をさせて頂きました。そのうちの2つ目の企業での就職が決まりました。

Q. 就職活動を進めるうえで、大変だったことを教えてください。

A. 障害者手帳の取得に時間がかかり、スタートが遅くなってしまったということがありました。また、私は仕事に就くのも初めてだったので、長時間労働に慣れていないということが大変でした。実習先では9:00~13:30まで連続して業務に当たらなければならず、最初のうちは疲れがありました。

Q. 疲労時の対策を教えてください。

A. 業務に慣れることと、どうしてもダメな時はエナジードリンクを飲むことで乗り切りました。

Q. 就労支援課のみなさんへメッセージをお願いします。

A. 就労支援課の環境よりも、実際に働くところはきついです。就労支援課で慣れたら、ぜひ外の企業に実習に行ってみるべきだと思います。実習の中で注意されたことがあったら、きちんと直すことを心がけ、またより良くなるためにどうしたらよいか、自分から聞いて行くことも大切だと思います。

Cさん（新規就労：清掃・緑化業務）

Q. 就労支援課ではどのようなプログラムに参加していましたか？

A. 園芸・清掃プログラム・軽作業に参加していました。

Q. 就職活動をどのように進めていきましたか？

A. スーパーで職場体験実習を行いました。職場の雰囲気がよく、いろいろ教えてもらって楽しく実習できました。いんげんやトマトなどの野菜の袋詰めや、清掃を行いました。POSの機械も教えてもらいました。自分としては大きな課題もなく、楽しく実習を終えることができました。

とにかく仕事を探さないとと思って、リハセンターの担当職員に教えてもらいながら、就職活動を進めました。就職活動にあたっては、就労支援センターにも、大変お世話になりました。

就労支援センターからの紹介で工場の清掃業務の試験（面接と実習）を受け、就職が内定しました。工場内の雑草を取る業務は疲れますが、自分としては体力的には問題ないと思います。職場の人間関係など、若干心配な点もありますが、まずはやってみることが大切だと思っています。

Q. ストレスの解消法を教えてください。

A. 以前の趣味は、今は難しくなっていました。自転車で出かけたり、スポーツ観戦をするなど、今できることを楽しんでいます。

Q. 就労支援課のみなさんへメッセージをお願いします。

A. パソコン作業をしている方が多いと思いますが、パソコン以外にもいろいろ試してみるといいと思います。園芸もいいと思いますよ。